
第30回犬山シンポジウム プログラム

日 時 : 2014年8月7日(木) 13:00 ~ 8日(金) 12:00

場 所 : 名鉄犬山ホテル 6階 「シャトー」

愛知県犬山市犬山北古券 107-1

TEL : 0568-61-2211 FAX : 0568-62-5750

会 費 : 3,000円

共 催 : 公益財団法人ウイルス肝炎研究財団

エーザイ株式会社

エーディア株式会社

[会場について]



名古屋駅より	名鉄特急で犬山駅まで 25 分	～	タクシー 7 分
中部国際空港より	名鉄特急で犬山駅まで 60 分	～	タクシー 7 分
小牧空港より	タクシー 約 35 分 (距離 20 km ・ 一部高速道路使用)		

[発表時間について]

演 題 : 発表10分、質疑5分
特別講演 : 発表20分

第1日目 8月7日(木)

13:00～13:05

開会の挨拶： 岡上 武（犬山シンポジウム代表世話人）

13:05～14:40

セッション1： B型肝炎

座長： 熊田 博光（虎の門病院）

茶山 一彰（広島大学）

演題1 B型肝炎ウイルスと microRNA

小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科消化器内科学）

演題2 ヒト肝細胞キメラマウスを使用した B型肝炎ウイルスに関する研究

茶山 一彰（広島大学）

演題3 HBs 抗原消失を目標とした核酸アナログ短期間欠投与の可能性に関する検討

鈴木 通博（川崎市立多摩病院（聖マリアンナ医科大学））

演題4 エンテカビル投与開始時における投与中止可能症例の予測因子の解析

向坂 彰太郎（福岡大学医学部消化器内科）

演題5 核酸アナログ多剤耐性症例に対するテノホビル併用長期投与の検討

熊田 博光（虎の門病院）

特別講演 優美な弧（アーク）から始まった B型肝炎研究 —黎明期の思い出—

清澤 研道（社会医療法人城西病院）

—休憩（15分）—

14:55~17:25

セッション 2 : C 型肝炎

座 長 : 林 紀夫 (関西労災病院)

小池 和彦 (東京大学大学院医学系研究科消化器内科学)

演題 1 C 型慢性肝炎における IL28B 誘導能と IFN 治療応答性および新規遺伝子 IFNA4 の関与

朝比奈 靖浩 (東京医科歯科大学消化器内科・肝臓病態制御学)

演題 2 DAAs 時代の IP-10 の有用性の検討

狩野 吉康 (札幌厚生病院肝臓内科)

演題 3 NS5A 領域 Y93H 変異の簡易迅速定量法を用いた C 型慢性肝疾患の治療戦略

持田 智 (埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科)

演題 4 日本に内在する NS5A 耐性株の臨床的意義

小俣 政男 (地方独立行政法人山梨県立病院機構)

演題 5 C 型肝炎の SVR 例と ALT 持続正常例の長期予後

熊田 卓 (大垣市民病院消化器内科)

— 休憩 (15 分) —

演題 6 WFA+C-M2BP は C 型慢性肝炎の発癌リスクマーカーである

八橋 弘 (国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター肝臓内科)

演題 7 C 型肝炎ウイルス排除後発癌根治後の肝癌再発の検討

泉 並木 (武蔵野赤十字病院消化器科)

演題 8 慢性ウイルス性肝疾患におけるストレスと細胞の反応

原田 大 (産業医科大学第 3 内科学)

演題 9 卵巣摘出 HCV トランスジェニックマウスの肝内酸化ストレス増強機構

日野 啓輔 (川崎医科大学肝胆膵内科学)

17:25～17:40

第30回犬山シンポジウム記念表彰： 鈴木 宏 先生

織田 敏次 先生

司 会： 小池 和彦（東京大学大学院医学系研究科消化器内科学）

17:40～18:00 写真撮影

18:00～20:00 情報交換会

第2日目 8月8日(金)

8:40～11:45

セッション3： 肝癌

座 長： 小俣 政男（地方独立行政法人山梨県立病院機構）

金子 周一（金沢大学消化器内科）

演題1 糖尿病および高度肥満患者の NBNC 肝癌の実態

清家 正隆（大分大学医学部消化器内科）

演題2 肝細胞がんにおける破綻シグナル伝達 Disrupted Conflicting Pathways

小俣 政男（地方独立行政法人山梨県立病院機構）

演題3 肝疾患進展・肝発癌における NF- κ B 活性化の意義

佐々木 裕（熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学）

演題4 網羅的糖鎖解析の肝癌診療への応用

山本 和秀（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学）

演題5 肝細胞癌（肝癌）のまれな2つの特殊型に関する報告

中島 収（久留米大学病院臨床検査部）

演題6 Gd-EOB-DTPA 造影 MRI と AFP を用いた肝癌分類

金子 周一（金沢大学消化器内科）

—休憩（15分）—

演題 7 Elastic ratio による肝腫瘍悪性度診断への応用

日浅 陽一（愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学）

演題 8 肝細胞癌に対する fusion imaging を用いた RFA 治療支援と効果判定

今井 康陽（市立池田病院消化器内科）

演題 9 肝細胞癌治療における新規塞栓物質の適応と治療効果

池田 健次（虎の門病院肝臓センター）

演題 10 肝癌に対する Sorafenib 治療の現状と効果予測因子 — 赤十字多施設共同研究の結果から —

大崎 往夫（大阪赤十字病院消化器内科）

特別講演 肝発癌研究は肝癌診療の進歩に役立ってきたか？

沖田 極（山口大学名誉教授、阿知須共立病院）

11:45～12:00

特別表彰 : 谷川 久一 先生（犬山シンポジウム顧問）

閉会の挨拶 : 岡上 武（犬山シンポジウム代表世話人）